

# 電磁波吸収材3割軽く

## ペースメーカー・携帯向け

大阪府立大

大阪府立大学の中山喜萬教授と秋田成司准教授らの研究グループは、ペースメーカーや携帯電話向けの電磁波吸収材を開発した。微細な炭素素材を樹脂に埋め込んで作った。鉄の酸化物などを埋め込む従来品より約3割軽く、ペースメーカーなど軽量の機器を覆つのに使いやすい。新技術が普及すれば、ペースメーカー使用者でも問題なく携帯電話を使える。

微細な炭素の棒を螺旋(らせん)状にしたカーボンナノコイルという素材を樹脂に埋め込み、電磁波吸収材を作った。コイルが電磁波を吸収する。大阪府大などが開発した吸収材でペースメーカーを覆えば、比較的強い電磁波にさらされても誤作動せず使える。携帯電話を覆えば、航空機内など精密機器が多い環境で使っても機器の誤作動を防げる。科学技術振興機構(JST)の助成金を受けて開発した。

平成19年11月2日(金)

日本経済新聞 テクノロジー面 (15面)